

福岡市 Well-being&SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社コスモリサーチ
所在地	福岡市博多区春町 2-8-9
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	電気・ガス・熱供給・水道業
電話番号	092-575-0651
ホームページ	https://www.cosmo-r.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	・漏水調査の現場作業については、現場代理人の裁量で開始時間、終了時間を決め、現場状況（天候や作業内容）に即した柔軟な働き方を推進している。 ・閑散期の長期有給休暇取得を推奨するなど、メリハリのある働き方を推進している。		
アンケート実施	☐	アンケートの社内共有	☐

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																	
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。			○	女性が定年まで働けるよう育児休暇制度を整備、2022年に一件実績をあり。 60歳が定年であるが、希望者は全て65歳まで再雇用しておりその際に 職務内容に変化がなければ同条件で雇用している。65歳以降も体力等が十分あれば70歳まで雇用しており、70歳までの雇用実績が1名、60代は現在4名雇用中。						○		○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。			○	漏水調査の現場作業については、現場代理人の裁量で開始時間、終了時間を決め、現場状況(天候や作業内容)に即した柔軟な働き方をしている。また内勤者も含め、閑散期の長期有給休暇取得(毎年約7割の社員が9日間の連休を実現)や飛び石連休などに有休消化推奨日を設定するなど、メリハリのある働き方を推進している。								○	○									
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。			○	ハラスメント相談窓口を総務部内に設置し、常時相談を受け付けいる。またその存在について社員に周知し、雇用契約書にも明示している。年に一回、社内勉強会(全社員参加)にてハラスメント防止の啓もうを行っている。																○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。			○	本店や支店から片道2時間以上かかる現場は即出張対応とし、長時間拘束を防止している。調査員は2人1班で行動しているが、人間関係で問題がある場合は上長を介さず総務部へ連絡できる体制を整えて、それでも報告がない場合に備えて年に1回総務部による全員面談を実施している。年一回の健康診断は全社員実施している。				○		○		○										
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。			○	入社した新入社員(中途採用含む)全員に1週間の新入社員研修を実施。その後2か月に1回全社員参加の勉強会(3時間)を実施している。また、必須資格を取得してもらうべく、会社経費で受験をさせている。その他の資格についても、資格試験合格者に報奨一時金を支払うと共に、資格手当を付与することで啓もうしている。																		
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	事務所から出るゴミは各自自治体の指示に従い、企業ゴミとして正しく分別した後に認定業者に引取りを依頼している。産業廃棄物に関しても認定業者に廃棄を依頼。PCなどリサイクルが必須のものはメーカーに送付している。						○		○				○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。		○	○	事務所の設定温度を環境省が推進する夏期28℃、冬期20℃に設定している。社用車は作業車はアイドリングストップ仕様を基本とし、営業車はそれに加えてハイブリッド車を採用している。使用するPCはデスクトップではなく消費電力の少ないノートPCを採用し、外付けモニターに出力することで省エネ化を実現している。												○	○					
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	社員には勉強会にてエシカル消費を心がけるように啓もうしている。また、作業中に大量に出る使い捨てカイロについて、GoGreenGroupに送り水資源の改善に寄与している。							○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。		○		主要業務が漏水調査のため、水利用については意識が高い。事務所や社員の自宅は常に漏水がないかの確認をしている。また、本社をはじめ事務所の蛇口に節水ゴマを使用、トイレは節水型トイレを設置している。								○										
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	事業体の担当者の方との綿密な打ち合わせの上、業務内容を確定、社内ワークフローシステムを使用し、原価表、工程管理票を社長以下役員が確認決済してから着手する。現場下見を綿密に行い想定されるリスクへの対応準備を確実に行う。					○								○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		○	○	水道の維持管理はそれ自体が社会課題であり、漏水調査員の育成、管理が社会課題の解決の一助になると考えている。水を語る会や水道展への毎回参加によって多様なパートナーシップを常に模索しており、包括業務への積極参加も行っている。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。			○	プライバシーマークを取得して4年目となる。取得の際に個人情報の種類、漏洩リスクの洗い出しを終えており、日々の業務の中でリスク対応をどのように行っているかの確認を行っている。内部監査年2回、教育実施年1回、マネジメントレビュー年2回実施。ヒヤリハットがあればすぐに是正している。																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。			○	新入社員研修の中でコンプライアンス研修を行っている。また社内勉強会の題目として年1回採用して教育を行っている。また、何かしらのコンプライアンス違反があった場合は就業規則、法律にのっとって対処し、全社員に内容をケーススタディとしてシェアしている。																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	新入社員研修の中で経営理念及び事業運営方針の提示及び説明を行っている。また社内で採用しているグループウェア(スケジュール管理等に使用)のホーム画面に上記を表示しており、常に社員の目にとまるようにしている。										○	○						○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	緊急連絡網を策定して、緊急時は早急に社員の安否確認ができるようにしている。また社員に公共性の高い仕事であることを周知しており、大規模地震の発生時は全国から被災地に漏水調査員を派遣できるよう準備している。昨年より事業の後継者を選定して5〜10年計画で現在育成中。														○				